

第24期年次報告書

平成18年4月1日～平成19年3月31日

企業とコンシューマを
総合的につないでゆくソリューション



ASJ
ADMIRAL SYSTEMS INC.



Linked to your future

～お客様と共に歩む企業を目指して～

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素より暖かいご支援と格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、当社グループの活動報告及び次期の見通しを取りまとめましたので当社グループへの理解を一層深めて頂ければ幸いに存じます。

当社グループは「人を思いやり、社会を思いやり、世界を思いやる」を基本理念といたしましてインターネットサーバサービス事業及びデジタルコンテンツ事業を展開し長期安定的な成長を目指しております。

当連結会計年度におきましては今後も市場拡大が予想されるオンラインゲームなどのデジタルコンテンツ事業に注力した結果、当社グループ会社である株式会社スポーツレイティンクスが提供しておりますオンラインベースボールゲーム「ドリームベースボール」が予想を上回るご好評を頂きました。今後もデジタルコンテンツ事業は大きく成長していくものと考えております。

インターネットサーバサービス事業では単にインターネットサーバを提供するだけでなく当社が独自に開発したソフトウェアを付加することにより、より高品質なサービスをお客様に提供しております。当連結会計年度におきましてもショッピングカート「ショッパー」のバージョンアップや新サービス「ショッパープラス」の提供などサービスの拡充に努めて参りました。

その結果、売上、利益ともに当初予想を上回り増収増益を達成することができました。

また、この度株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を込めまして株主優待制度を新設いたしました。

今後の当社グループの方針といたしましては、当社グループの強みである技術力を活かした新サービスの開発や今後成長が期待できる分野への積極的な投資等により事業規模の拡大、業績の向上を目指していく所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループに対する一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長 兼 社長

丸山 治昭

平成19年6月

ASJグループはこんなサービスを提供しています。

ASJホスティングサービス

<http://www.asj.ne.jp/>



ASJホスティングサービスは、当社グループが提供するサービスの中でも基幹となるサービスの一つであり、インターネットを活用することによって事業拡大を目指す中堅・中小企業や個人事業主を中心に20,000社を超える導入実績を誇るサービスです。当社グループの強みの一つであるアプリケーション開発技術を駆使したサービスとしてモバイル対応Eコマース支援サービス「ショッパー」やオンライン予約・受付管理システム「eリザーブ」を中心に、様々なアプリケーションをレンタルサーバに付加して提供しているのも特徴となっております。

HotBiz

<http://www.hotbiz.ne.jp/>



インターネットグループウェア「HotBiz」は、インターネット専用のグループウェアとしては国内でトップレベルのシェアを誇るサービスの一つとして、多数の企業の皆様にご利用頂いております。「HotBiz」は、経営活動において必要不可欠である情報共有・業務管理等を簡単に行うことができます。また、金融商品取引法（J-SOX法）においては内部統制強化が求められており、グループウェアを活用することによって内部統制強化が可能であると考えられていることから、今後も「HotBiz」においても企業からの需要は高まっていくと考えております。

Leaffi

<http://www.leaffi.jp/>



アフィリエイトプログラムサービスとは、インターネット広告市場で大きくシェアを伸ばしている成果報酬型広告の一つです。
当社が提供するアフィリエイトプログラムサービス「Leaffi」の特徴としては、リアルタイムで成果が認識できる機能を搭載しており、スピードが優先されるインターネット業界を中心に好評を得ているサービスの一つとなっております。また、独自のネットワークによって獲得した多数の優良広告掲載者を有しており、「成果の上がるアフィリエイトプロパイダー」として数多くの広告主から好評を得ております。

オンラインプロ野球ゲーム

ドリームベースボール

<http://www.d-bb.com/>



ASJグループの一社である株式会社スポーツレイティングス（以下「SR社」）が提供している「ドリームベースボール」とは、社団法人日本野球機構承認のプロ野球予想ゲームとして数多くのユーザーにご利用頂いております。



「ドリームベースボール」とは、インターネット上で実在のプロ野球選手のカードを集めて、自分だけのドリームチームを作成し、実際の野球の結果がゲームの成績に反映して多くのユーザーと競い合うことを楽しむゲームです。

「ドリームベースボール」では、ASJ社とSR社が共同で開発した選手評価格付けシステム「BBR (BaseBall-Rating)」を活用しております。「BBR」とは、勝利に対する貢献度を100点満点で数値化したものであり、単純な打席データや投球データでは計り知れない選手一人一人の勝利貢献度を「ドリームベースボール」の中で表現することによって、プロ野球ファンが熱狂するサービスとして、2シーズ目を向かえた今も多くユーザーに楽しんで頂いております。

また、登場する選手カードは全て実名で写真を使っていることから、自分の好きなチームや選手を集めるといったコレクション性も高いサービスとなっております。

株主優待制度を新設

この度、「ドリームベースボール」内にご利用頂ける下記特典をご用意致しました。是非この機会に「ドリームベースボール」をお楽しみ下さい！

- ・お好きな選手が選べるゴールドカード 1枚
- ・スペシャルガチャガチャ券 1枚
- ・ガチャガチャ券 10枚

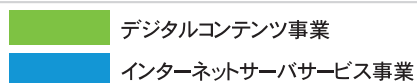


ガチャガチャ券



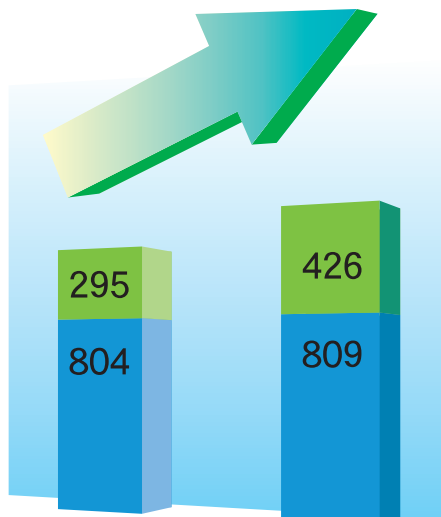
スペシャルガチャガチャ券

事業の種類別セグメント業績推移 (単位:百万円)



デジタルコンテンツ事業
前年同期比

144.3%



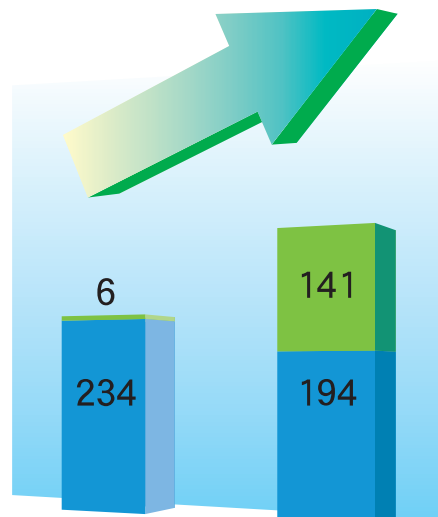
平成18年3月期

平成19年3月期

売上高

デジタルコンテンツ事業
前年同期比

2,236.2%



平成18年3月期

平成19年3月期

営業利益

通期業績概況

Topics

- 1, デジタルコンテンツ事業が急成長し過去最高の業績を達成
- 2, 「ドリームベースボール」本格的に始動

インターネットサーバサービス事業

インターネットサーバサービス事業では前期より提供を開始いたしましたモバイル対応Eコマース支援サービス「ショッパー」及びオンライン予約・受付管理システム「eリザーブ」が着実に顧客数を伸ばし成果を挙げております。また、当期におきましてもより高品質なサービスの開発に注力し、高性能Eコマース支援サービス「ショッパープラス」等の提供を開始いたしました。

デジタルコンテンツ事業

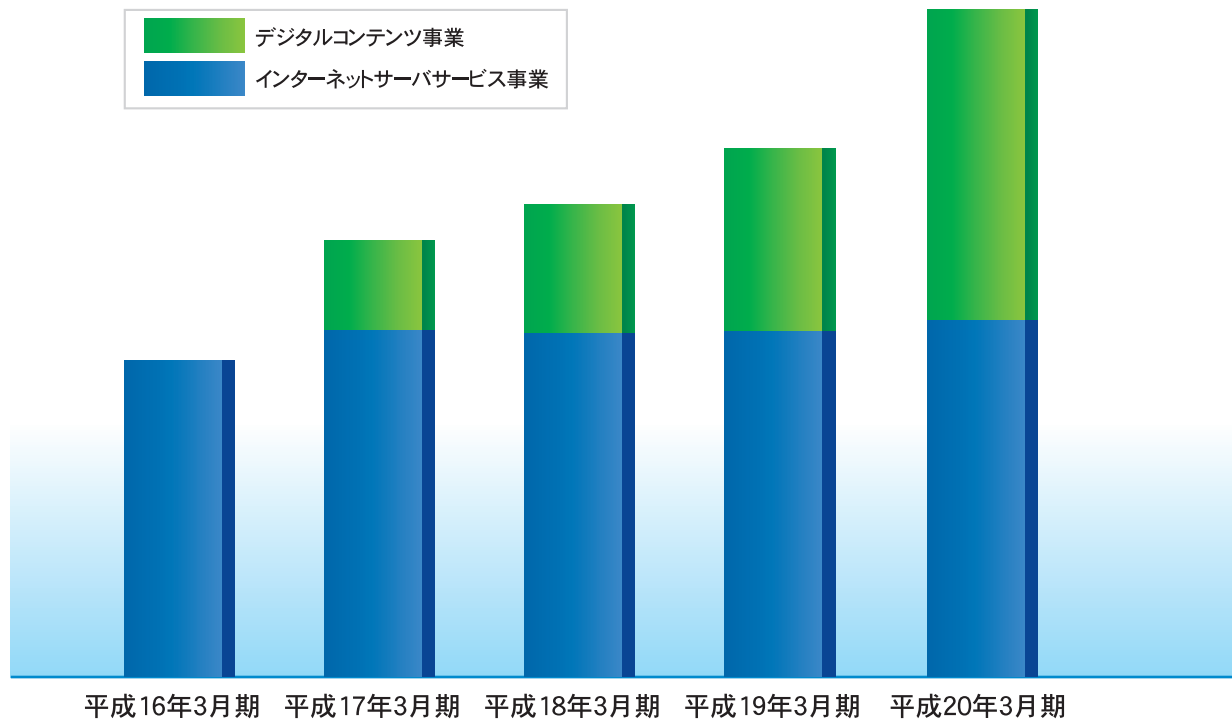
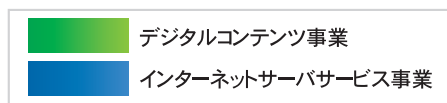
デジタルコンテンツ事業分野では新規事業として本格的に稼働を開始したオンラインベースボールゲーム「ドリームベースボール」が当初の予想を上回る業績を達成いたしました。また、アフィリエイトプログラムサービス「Leaffi」につきましても積極的な販売促進活動を行い、多くの広告主の企業を獲得することができました。その結果、デジタルコンテンツ事業は、売上高426百万円（前年同期比144.3%）、営業利益141百万円（前年同期比2236.2%）と大幅な伸びを記録いたしました。

当社グループ全体と致しましては、売上高1,209百万円（前年同期比110.8%）、営業利益336百万円（136.8%）、経常利益340百万円（130.8%）、当期純利益209百万円（147.1%）と過去最高の業績を達成いたしました。



次期の見通し

デジタルコンテンツ事業を拡大し新たな成長ステージへ



ASJグループ次期に向けての施策

新たなデジタルコンテンツの創生

ASJグループでは、平成17年3月よりアフィリエイトプログラムサービス「Leaffi」、平成18年3月よりプロ野球予想ゲーム「ドリームベースボール」といった新たなデジタルコンテンツの提供を開始することによって、業容を拡大して参りました。現在においても新たなデジタルコンテンツを提供するべく開発活動を行っております。

今後も、多くの皆様にご利用頂けるデジタルコンテンツを次々と提供することで、デジタルコンテンツ事業を拡大してまいります。

M&Aや資本提携によるビジネス領域の拡大

平成19年4月にインターネット通信販売事業を展開する株式会社ネオスがASJグループの一員となりました。株式会社ネオスは主に「豆乳おからクッキー」等の健康食品を自社で企画・開発及び販売を行っている企業として、20代の女性を中心とした顧客基盤を有している企業です。今後も更なる新製品を開発するとともに、ASJグループが有しているサーバ及びアプリケーションの開発技術を活用することによって業容を拡大してまいります。

今後も、ASJグループが有しているサーバ及び開発技術を活用可能な企業への投資を継続していくことによってビジネス領域を着実に拡大してまいります。

このような事業計画の下、次期の連結業績につきましては、売上高1,560百万円（前年同期比129.0%）、経常利益380百万円（前年同期比111.8%）、当期純利益は210百万円（前年同期比100.5%）と増収増益を見込んでおります。また、本業績予想においては既に開示した企業以外のM&A及び次期予定している新規サービスによる業績の変動は見込んでおりません。

平成20年3月期の通期連結業績予想（単位:百万円）

| 科目 | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|----|----------------|--------------|--------------|--------------|
| 通期 | 1,560 (129.0%) | 360 (107.1%) | 380 (111.8%) | 210 (100.5%) |

連結決算

連結決算ハイライト

| 科 目 | | 第20期 平成15年3月 | 第21期 平成16年3月 | 第22期 平成17年3月 | 第23期 平成18年3月 | 第24期 平成19年3月 |
|----------------------|------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 売上高 | (千円) | 682,525 | 739,485 | 1,004,906 | 1,091,691 | 1,209,961 |
| 経常利益 | (千円) | 186,790 | 189,745 | 245,526 | 260,635 | 340,910 |
| 当期純利益 | (千円) | 102,193 | 108,006 | 96,681 | 142,220 | 209,145 |
| 純資産額 | (千円) | 830,049 | 807,276 | 896,714 | 2,167,949 | 2,109,331 |
| 総資産額 | (千円) | 1,025,094 | 1,022,157 | 1,163,982 | 2,464,259 | 2,500,111 |
| 1株当たり純資産額 | (円) | 75,459.02 | 77,734.88 | 14,335.96 | 31,467.91 | 31,385.60 |
| 1株当たり当期純利益 | (円) | 10,508.33 | 10,078.01 | 1,547.87 | 2,214.74 | 3,096.80 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | (千円) | 179,051 | 177,606 | 169,683 | 216,759 | 299,821 |

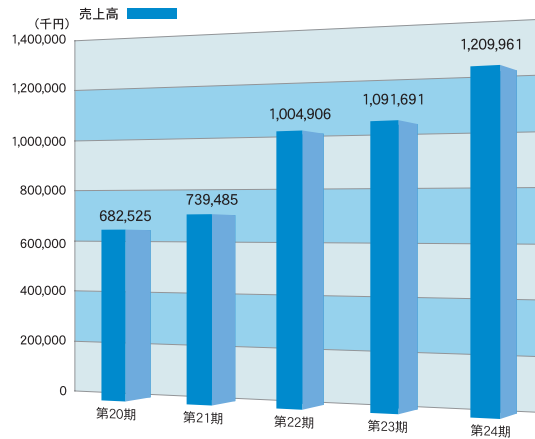
(注1) 売上高には、消費税等は含まれておりません。

(注2) 平成16年5月20日付で普通株式1株につき3株の分割を、平成16年11月22日付で普通株式1株につき2株の分割を行っております。

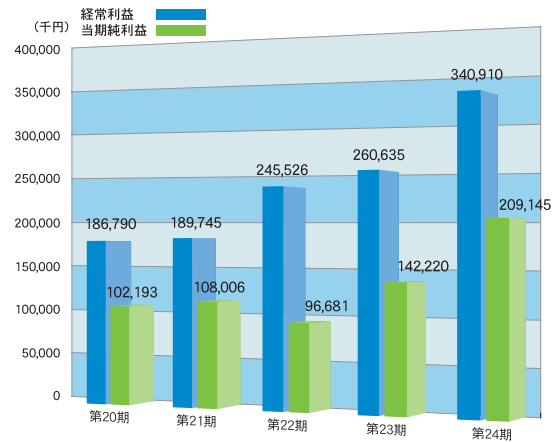
(注3) 第24期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」（企業会計基準第5号 平成17年12月9日）及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」（企業会計基準適用指針第8号 平成17年12月9日）を適用しております。

連結決算グラフ

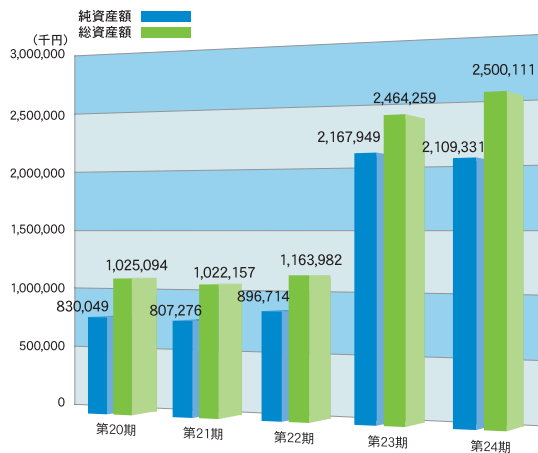
■売上高



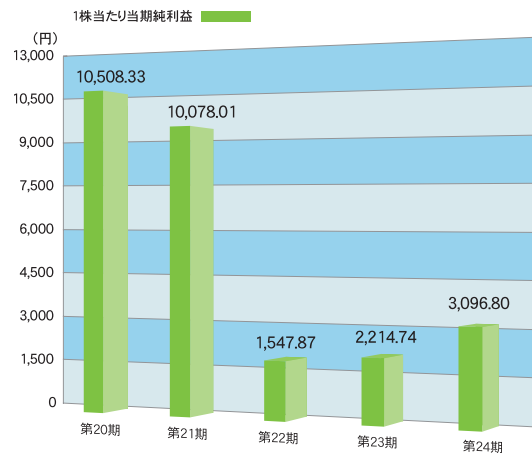
■経常利益/当期純利益



■純資産額/総資産額



■1株当たり当期純利益



連結決算概要

連結貸借対照表

(単位：千円)

| 科目 | 当期 (平成19年3月31日現在) | 前期 (平成18年3月31日現在) | 科目 | 当期 (平成19年3月31日現在) | 前期 (平成18年3月31日現在) |
|---------------|----------------------|----------------------|-----------------------------|----------------------|----------------------|
| (資産の部) | | | (負債の部) | | |
| 流動資産 | 1,475,287 | 1,666,330 | 流動負債 | 386,839 | 296,309 |
| 現金及び預金 | 1,361,876 | 1,382,844 | 買掛金 | 13,929 | 13,942 |
| 売掛金 | 19,742 | 44,948 | 短期借入金 | 100,000 | — |
| たな卸資産 | 2,970 | 2,465 | 未払法人税等 | 63,365 | 62,402 |
| 繰延税金資産 | 5,122 | 5,619 | 繰延税金負債 | — | 194 |
| 預け金 | — | 191,170 | 未払消費税等 | 10,592 | 12,927 |
| その他 | 85,652 | 39,438 | 前受金 | 156,787 | 159,339 |
| 貸倒引当金 | △ 77 | △ 155 | その他 | 42,165 | 47,503 |
| 固定資産 | 1,022,784 | 790,793 | 固定負債 | 3,939 | — |
| 有形固定資産 | 167,389 | 177,129 | 負ののれん | 3,939 | — |
| 建物及び構築物 | 100,868 | 108,734 | 負債合計 | 390,779 | 296,309 |
| 車両運搬具 | 8,802 | 2,898 | (資本の部) | | |
| 工具器具備品 | 28,719 | 36,496 | 資本金 | — | 919,250 |
| 土地 | 29,000 | 29,000 | 資本剰余金 | — | 936,506 |
| 無形固定資産 | 296,573 | 284,388 | 利益剰余金 | — | 492,664 |
| のれん | 68,685 | — | その他有価証券評価差額金 | — | △ 11,091 |
| 借地権 | 88,106 | 88,106 | 為替換算調整勘定 | — | 654 |
| ソフトウェア | 136,989 | 119,932 | 自己株式 | — | △ 170,034 |
| 連結調整勘定 | — | 73,440 | 資本合計 | — | 2,167,949 |
| その他 | 2,793 | 2,909 | 負債・少数株主持分 及び資本合計 | — | 2,464,259 |
| 投資その他の資産 | 558,820 | 329,275 | (純資産の部) | | |
| 投資有価証券 | 314,240 | 303,557 | 株主資本 | | |
| 繰延税金資産 | 24,847 | 6,451 | 資本金 | 919,250 | — |
| 長期定期預金 | 200,000 | — | 資本剰余金 | 936,506 | — |
| その他 | 20,323 | 19,915 | 利益剰余金 | 667,362 | — |
| 貸倒引当金 | △ 590 | △ 648 | 自己株式 | △ 377,663 | — |
| 繰延資産 | 2,039 | 7,135 | 株主資本合計 | 2,145,456 | — |
| 株式交付費 | 2,039 | — | 評価・換算差額等 | | |
| 新株発行費 | — | 4,079 | その他有価証券評価差額金 | △ 36,875 | — |
| 社債発行費 | — | 3,055 | 為替換算調整勘定 | 751 | — |
| 資産合計 | 2,500,111 | 2,464,259 | 評価・換算差額等合計 | △ 36,124 | — |
| | | | 純資産合計 | 2,109,331 | — |
| | | | 負債純資産合計 | 2,500,111 | — |

連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

| 科目 | 当期 | 前期 |
|--------------|-------------------------|-------------------------|
| | 平成18年4月1日から平成19年3月31日まで | 平成17年4月1日から平成18年3月31日まで |
| 売上高 | 1,209,961 | 1,091,691 |
| 売上原価 | 393,410 | 375,185 |
| 売上総利益 | 816,551 | 716,506 |
| 販売費及び一般管理費 | 479,579 | 470,108 |
| 営業利益 | 336,972 | 246,398 |
| 営業外収益 | 11,625 | 22,548 |
| 営業外費用 | 7,687 | 8,311 |
| 経常利益 | 340,910 | 260,635 |
| 特別利益 | 1,821 | 4,006 |
| 特別損失 | 19,897 | 8,434 |
| 税金等調整前当期純利益 | 322,834 | 256,207 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 113,386 | 114,427 |
| 法人税等調整額 | 302 | △ 704 |
| 少数株主利益または損失 | — | △ 263 |
| 当期純利益 | 209,145 | 142,220 |

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

| 科目 | 当期 | 前期 |
|----------------------|-------------------------|-------------------------|
| | 平成18年4月1日から平成19年3月31日まで | 平成17年4月1日から平成18年3月31日まで |
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 299,821 | 216,759 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △ 1,015,678 | △ 357,486 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △ 143,831 | 1,126,107 |
| 現金及び現金同等物に係る 換算差額 | 120 | 2,018 |
| 現金及び現金同等物の 増減額 | △ 859,568 | 987,399 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 1,572,983 | 585,584 |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 713,415 | 1,572,983 |

連結株主資本等変動計算書(要旨)

(単位：千円)

(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

| | 株主資本 | | | | | 評価・換算差額等 | | | 純資産 合計 |
|-------------------------------|---------|-----------|-----------|-----------|------------|------------------|--------------|----------------|-----------|
| | 資本金 | 資本 剰余金 | 利益 剰余金 | 自己株式 | 株主資本 合計 | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 平成18年3月31日 残高 | 919,250 | 936,506 | 492,664 | △ 170,034 | 2,178,386 | △ 11,091 | 654 | △ 10,436 | 2,167,949 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当(注) | — | — | △ 34,447 | — | △ 34,447 | — | — | — | △ 34,447 |
| 当期純利益 | — | — | 209,145 | — | 209,145 | — | — | — | 209,145 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | △ 207,629 | △ 207,629 | — | — | — | △ 207,629 |
| 株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額) | — | — | — | — | — | △ 25,784 | 96 | △ 25,687 | △ 25,687 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | — | — | 174,698 | △ 207,629 | △ 32,930 | △ 25,784 | 96 | △ 25,687 | △ 58,618 |
| 平成19年3月31日 残高 | 919,250 | 936,506 | 667,362 | △ 377,663 | 2,145,456 | △ 36,875 | 751 | △ 36,124 | 2,109,331 |

(注) 平成18年6月24日開催の定時株主総会における利益処分項目であります。

利益還元方針について

当社グループは株主に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、経営成績及び企業体質の強化に向け内部留保の確保を勘案した上で、利益配当を実施していく方針です。株主配当は、配当性向20～30%を目安とし、1株当たり当期純利益を年々増加していくに伴い、1株当たりの配当金増額を継続的な努力として、長期的に安定した配当を実施していきたいと考えています。

株式について

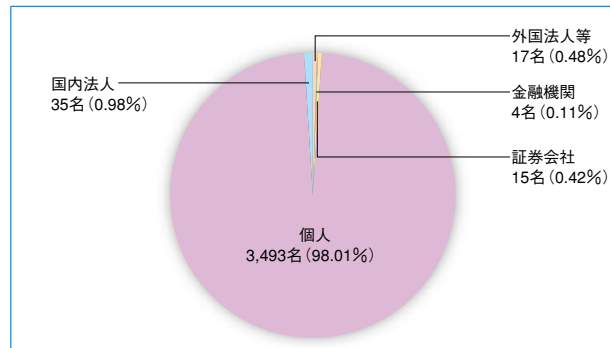
| | |
|--------------|------------|
| 会社が発行する株式の総数 | 264,000株 |
| 発行済株式の総数 | 72,535.94株 |
| 株主数 | 3,564名 |

大株主

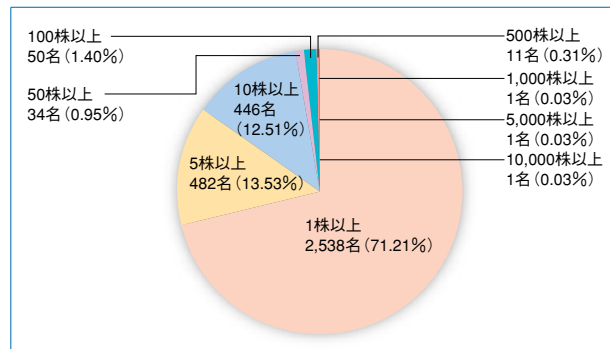
| 株主名 | 持株数 (株) | 議決権比率 (%) |
|------------|---------|-----------|
| 丸山治昭 | 31,656 | 47.11 |
| 丸山君子 | 1,050 | 1.56 |
| 田村公一 | 861 | 1.28 |
| 黒岩潤司 | 859 | 1.27 |
| 堀正明 | 852 | 1.26 |
| 日本証券金融株式会社 | 804 | 1.19 |
| ASJ従業員持株会 | 799 | 1.18 |
| 青木邦哲 | 756 | 1.12 |
| 室田和男 | 747 | 1.11 |

(注)上記のほか、自己株式が5,328.94株あります。

所有者別株主分布状況



所有数別株主分布状況



会社概要

(平成19年6月22日現在)

| | | | |
|-------|--|---|--|
| 会社名 | 株式会社アドミラルシステム (ADMIRAL SYSTEMS INC.) | | |
| 略称 | ASJ | | |
| 証券コード | 2351 | | |
| 所在地 | 〒332-0023 埼玉県川口市飯塚1-18-8 | | |
| 設立 | 昭和59年2月15日 | | |
| 資本金 | 9億1,925万円 | | |
| 資格・認定 | JPNIC正会員 JPNIC IPアドレス管理指定事業者 JPRS正規指定事業者 メルボルンIT (INWW) 戦略パートナー 日本ベリサイン正規代理店 | NSIインターナショナル・プレミア・パートナー 一般第2種電気通信事業者 A-08-1621 社団法人 日本テレコムサービス協会会員 財団法人 財務会計基準機構会員 | |
| 役員 | 代表取締役会長兼社長 丸山治昭 常務取締役 青木邦哲 常務取締役 沼口芳朗 | 常勤監査役 室田和男 監査役 石井次男 監査役 藤原哲高 監査役 安永高 | |
| 主要子会社 | 株式会社スポーツレイティングス 株式会社ネオス 株式会社イー・フュージョン ASUSA Corporation Inc. | 東京都渋谷区渋谷2-14-18 あいおい損保 渋谷ビル5階 TEL : 03-5766-0800 FAX : 03-5766-0909 東京都港区赤坂9-6-28 アルベルゴ 乃木坂8階 TEL : 03-5771-0014 FAX : 03-5771-0013 東京都渋谷区渋谷2-14-18 あいおい損保 渋谷ビル5階 TEL : 03-5766-0521 FAX : 03-5766-0522 530 Center Street, Suite #390 Salem, Oregon 97301 USA | |

ASJディスクロージャーポリシー

当社は、株主及び投資家の皆様に向けて、適時に正確かつ公平な情報を提供するため、株式会社東京証券取引所の定める適時開示規則（以下「適時開示規則」）に沿ってディスクロージャーを行っております。また、適時開示規則に該当しない情報についても、特定の株主及び投資家に情報が集中しないように公平な開示を行い、株主及び投資家にとって有用な情報の提供を行うことをディスクロージャーの基本方針としております。但し、当社では競争優位上あるいは守秘義務契約上、特定の情報にお答えできない場合がございますのであらかじめご了承ください。

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 期末配当金受領
株主確定日 3月31日
- 中間配当金受領
株主確定日 9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 公告方法 公告掲載URL <http://www.asj.ad.jp/>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

●株式に関するお手続き用紙のご請求について

【お知らせ】

株式に関するお手続き用紙（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等）のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

0120-244-479 (三菱UFJ信託銀行本店証券代行部) } 通話料無料
0120-684-479 (三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部) }

インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

当社ウェブサイトでも詳しい情報をご覧になれます。

<http://www.asj.ad.jp/>



ASJ
ADMIRAL SYSTEMS INC.

株式会社
アドミラルシステム

〒332-0023 埼玉県川口市飯塚1-18-8 TEL.048-259-5111(代表) FAX.048-259-3700